

## 令和5年度 金融庁行政事業レビュー外部有識者会合 議事概要

1. 開催日時：令和5年5月31日（水）10：00～11：20

2. 開催場所：中央合同庁舎第7号館西館9階 共用会議室（905B）

3. 外部有識者（敬称略）：

石島 隆 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授

4. 主な審議内容

事務局より、令和5年度の外部有識者点検対象事業について説明を行った後、質疑・応答を踏まえ、外部有識者から以下のとおり所見が述べられた。

「家計の安定的な資産形成推進のための制度周知・広報及び税制の調査・検証」

- 本事業の長期アウトカムは、「家計における資産運用による収入を大きく増加させること」とされているが、本事業ではクロスボーダー取引に係る租税条約の調査などの取組みも行われているため、当該取組みについても効果を測定できるものにならないか検討してはどうか。

「金融経済教育の推進」

- 本事業の長期アウトカムは、3年に1回行われる調査結果の係数を用いているが、より短期間に、金融行動の変化を測定できるようなものにならないか、検討してはどうか。
- 本事業において作成するコンテンツの作成について、教育の場で更に活用してもらえよう、動画のコンテンツなど、対象年代ごとに適した手段を組み合わせることも検討してはどうか。

「サステナブルファイナンス推進に必要な経費」

- 本事業の長期アウトカムについて、サステナブルファイナンスの推進に関する推移や成果を測定できるようなものにならないか、更に検討してはどうか。定量的な成果目標の検討に時間を要する場合には、一時的に定性的な目標や複数の指標を設けることも考えられる。

「課徴金制度関係経費」

- 本事業の経費は、被審人の権利を保障するため必要なものであり、予算執行が生じる場合には適切に行っていただきたい。

以上